EpisysB401

B:皮膚・粘膜曝露 単純集計レポート(総合)

病院コード: 00000

対象レコード数: 298 「手術部報告」を含む 抽出期間 2020/04/01 ~ 2021/03/31 所属部門: すべて 施設数:62 職種: すべて 平均稼動病床:643 発生場所: すべて 発生場所詳細: すべて 患者の確定: すべて 99 その他 5 脳脊髄液 ___7 胸水 □ 9 尿 汚染した体液: □ 1 血液・血液製剤 □ 3 痰 □ 10 体液 ✓ 指定なし And Or □ 2 吐物 □ 4 唾液 □ 8 羊水 □ 6 腹水 3 眼 □ 5 □ 汚染組織・状態: □ 1 無傷な皮膚 ✓ 指定なし And Or □ 2 傷のある皮膚(皮膚炎・擦り傷等) ___4 鼻 ■ 99 その他 汚染時の状況: □ 1 防備していない皮膚・粘膜に触れた □ 3 防衣又は防具を浸透して触れた ✔ 指定なし And Or □ 2 防衣の隙間等の皮膚に触れた ■ 4 白衣などの衣類を浸透して触れた 汚染時の防衣・ 1 手袋なし 6 側面保護眼鏡 11 ガウン(プラスチック/ビニール) 防具: □ 7 フェイスシールド □ 2 一重の手袋(ゴム/ビニール) 14 エプロン(プラスチック/ビニール) ■8手術用マスク □ 12 検査実/験衣(布地) □ 3 二重の手袋(ゴム/ビニール) And Or ■ 9 眼保護付手術用マスク □ 4 ゴーグル □ 10 手術用ガウン □ 99 その他 ✔ 指定なし 5 眼鏡 汚染理由: すべて 汚染時間: すべて 接触量: すべて 第一汚染部位: すべて HBs抗体: すべて 緊急処置時汚染: すべて 注:それぞれの項目の集計において「記載なし」のデータは除いて集計してあります。(経費、日数を除く) 2. 部門 医師部門 1 116 39.9% 病棟部門 2 101 34.7% 3 外来部門 19 6.5% 4 中材·手術部門 22 7.6% 検査部門 5 9 3.1% 6 放射線部門 9 3.1% 99 その他 15 5.2% 合計 291 3. 職種 1 医師(常勤・非常勤を含む) 72 24.2% 2 レジデント・研修医 43 14.5% 3 医学生 8 2.7% 看護師 44.4% 4 132 准看護師 5 1 0.3% 臨床検査技師 8 3 1.0% 9 放射線技師 6 2.0% 12 清掃・洗濯・廃棄等の医療関連サービス(委託業者含む) 3 1.0% 14 助産師 17 5.7% 臨床工学技士 1.7% 16 5 7 99 その他 2.4%

合計 297

帥診	療科		
1	内科	21	35.69
2	外科	4	6.8
3	麻酔科	2	3.4
4	整形外科	5	8.5
7	小児科	2	3.4
8	産婦人科	2	3.4
9	眼科	1	1.79
10	皮膚科	5	8.5
11	泌尿器科	5	8.5
13	精神•神経科	1	1.79
14	放射線科	1	1.7
16	脳神経外科	2	3.4
17	腎透析部	3	5.1
19	救急部	3	5.1
99	その他	2	3.4
	合計	59	

レジデ	レジデント・研修医診療科					
1	内科	12	35.3%			
2	外科	3	8.8%			
4	整形外科	2	5.9%			
7	小児科	2	5.9%			
12	耳鼻咽喉科	1	2.9%			
16	脳神経外科	1	2.9%			
19	救急部	12	35.3%			
99	その他	1	2.9%			

清招	清掃・洗濯・廃棄等の医療関連サービスの種別					
	2	洗浄・滅菌業務担当者(委託業者含む)	1	100.0%		
		合計	1			

34

合計

4.	発生	場所		
	1	病室(集中治療室を除く)	75	25.3%
	2	病棟病室外	8	2.7%
	3	救急部門	22	7.4%
	4	集中治療部(術後回復室を含む)	35	11.8%
	5	手術部	66	22.2%
	6	外来診察室(処置室)	19	6.4%
	8	採血室	2	0.7%
	9	透析室	8	2.7%
	10	特殊検査室(放射線・内視鏡・CT・心カテ・筋電図等の検査室)	34	11.4%
	11	臨床検査部	4	1.3%
	12	病理部	1	0.3%
	13	中央材料室	1	0.3%
	14	分娩室	10	3.4%

99 その他 12 4.0%

発生場	所詳細	(病室)	
1		2	6.7%
2		2	6.7%
3		2	6.7%
4		4	13.3%
5		3	10.0%
99	その他	17	56.7%
	合計	30	

発生場所詳細(病棟病室外)							
	1	廊下				2	40.0%
	3	処置室				2	40.0%
	99	その他				1	20.0%
		合計				5	

発生場	所詳細(外来診療室)		
1	内科	2	22.2%
4	整形外科	1	11.1%
6	形成外科	1	11.1%
8	産婦人科	3	33.3%
10	皮膚科	1	11.1%
11	泌尿器科	1	11.1%
	合計	9	

発生	生場	所詳細(病理部)		
	1	病理検査室	1	100.0%
		合計	1	

5.	5. 患者の確定				
	1	はい	281	97.6%	
	2	いいえ	4	1.4%	
	3	適切な回答なし(患者への使用前など)	3	1.0%	
		合計	288		

患者	患者区分					
1	入院	235	85.5%			
2	救急外来	13	4.7%			
3	外来(救急除く)	27	9.8%			
	승計	275				

確定患者の検査結果

感染症名	陽性	陰性	未検査	計
HIV抗体	5	232	25	262
HCV抗体	43	222	4	269

HBs抗原	19	245	7	271
HBe抗原	0	74	158	232
梅毒	8	173	59	240
ATLA	4	91	128	223

6. 曝露した体液

種別	血液等	吐物	痰	唾液	脳脊髄液	腹水	胸水	羊水	尿	不明	その他	計
計	209	7	16	15	1	5	1	11	14	0	43	292
	72%	2%	5%	5%	0%	2%	0%	4%	5%	_	15%	

7. 曝露組織・状態

部分	無傷な皮膚	傷のある皮膚	眼	鼻	П	その他	計
計	70	32	237	6	7	5	296
	24%	11%	80%	2%	2%	2%	

8. 曝露時の状況

区分	防備していない 皮膚・粘膜に触	防衣の隙間等の 皮膚に触れた	防衣又は防具を 浸透して触れた	白衣などの衣類 を浸透して触れ	計
計	224	61	8	7	288
	78%	21%	3%	2%	

9. 曝露時の防衣・防具

7 フェイスシールド	3 10	1% 3%	12 検査実験衣布地 99 その他	8 42	3% 15%
	3	1%	12 検査実験衣布地	8	3%
6 側面保護眼鏡					
5 眼鏡	42	15%	14 エプロン(プラスチック/ビニール)	15	5%
4 ゴーグル	29	10%	11 ガウン(プラスチック/ビニール)	23	8%
3 二重のゴム手袋	33	11%	10 手術用ガウン)	32	11%
2 一重のゴム手袋	193	67%	9 眼保護付手術用マスク	3	1%
1 手袋なし	43	15%	8 手術用マスク	64	22%

10. 曝調	露理由		
1	患者から直接に	82	28.6%
2	検体容器から漏れて/こぼれて	32	11.1%
3	検体容器が壊れて	1	0.3%
4	チューブ(血液、吸引、ドレイン、その他)バッグ/ポンプ から漏れて	28	9.8%
5	破れた手袋、ガウン等をとおして	2	0.7%
6	気管/鼻腔栄養・その他のチューブが外れて、漏れて	16	5.6%
7	その他の体液容器からこぼれて/漏れて(吸引ビン等)	9	3.1%
8	血液検体に接触していた器材に触れて	10	3.5%
9	血液検体に接触していた覆布/シーツ/ガウン等に触れて	5	1.7%

10 その他、装置の誤作動や誤操作	3	1.0%
99 その他	99	34.5%
合計	287	
1. 曝露時間		
1 5分未満	212	72.6%
2 5~14分間	41	14.0%
3 15分以上1時間未満	27	9.2%
4 1時間以上	12	4.1%
合計	292	
2. 曝露量		
1 少量(5cc未満)	265	90.8%
2 中等量(5~50cc)	24	8.2%
3 大量(50cc以上)	3	1.0%
合計	292	
3. 曝露部位 (表示されている内訳は部位1に入力されている値で分類	表示)	
右手背	12	4.1%
右手掌	10	3.4%
左手掌	8	2.7%
左手背	4	1.4%
前面 右手首	3	1.0%
前面 右前腕	2	0.7%
前面 右上腕	2	0.7%
前面 右顔面	154	52.7%
前面 右胸腹部	2	0.7%
前面 右大腿部	1	0.3%
前面 右下腿部	1	0.3%
前面 左顔面	79	27.1%
前面 左胸腹部	1	0.3%
前面 左上腕	5	1.7%
前面 左前腕	1	0.3%
後面 左頭部	3	1.0%
後面 右頭部	4	1.4%
合計	292	
4. HBs抗体		
1 はい(ワクチン接種により10mIU/mL以上になったことがある)	225	79.5%
2 はい(自然陽転あるいは既往疾患などにより10mIU/mL以上になったことが	7	2.5%
3 いいえ	33	11.7%
4 不明	18	6.4%
合計	283	

15. 緊急処置時曝露

1	はい	39	14.0%
2	いいえ	239	86.0%

合計 278

受傷・曝露による損失経費	総計	51,	666	円
■ 検査費用(HB、HCV、HIV、肝機能など)				
1)該当患者に実施した検査			0	円
2) 受傷者に実施した検査		51,	666	円
■ 業務中断/職場離脱				0円
小計		51,	666	円
■ 代務採用経費			0	円
合計		51, (666	円
■ 感染・発症予防措置の費用				
(HB免疫グロブリン、抗HIV予防投薬	など)		0	円
■ 発症後の治療費用			0	円
公労災の申請をしたもの				
1 はい		43	49	.4%
2 いいえ		44	50	.6%
		87		
公労災の認定状況				
1 はい		8	100	.0%
合計		8		
受傷・曝露による損失勤務				
病休日数		0.00 日		
就業制限		0.00 日		
計		0.00 日		